

2022年度 卒業生および就職先企業等を対象とした インタビュー調査（抜粋版）

本調査の概要

立教大学では、卒業生を対象とした「卒業後調査」と、卒業生の就職先企業等を対象とした「就職先企業等に対する調査」を実施しています。本調査では、立教大学の教育およびキャリア支援のさらなる充実を図るため、立教大学卒業生および卒業生の就職先企業等を対象として、大学教育・キャリア支援のあり方等を聞き取ることを目的としたインタビュー調査を実施しました。

この資料では分析結果の一部を抜粋してご紹介します。調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。立教大学では今回の結果を各学部等や事務局局など全校で共有し、これからの教育改善・充実に活かしてまいります。

卒業生を対象としたインタビュー調査の概要

調査手法：フォーカスグループインタビュー（1グループあたり90分）

調査対象者数：12名（4名×3グループ）

調査対象者：2021年実施の「卒業後調査」に回答し、かつインタビュー調査に協力意向を示した、2016年（卒業後5年目）の卒業生

調査時期：2022年9月

就職先企業等を対象としたインタビュー調査の概要

調査手法：フォーカスグループインタビュー（1グループあたり90分）

調査対象者数：5名（3名×1グループ、2名×1グループ）

調査対象者：2021年実施の「就職先企業等に対する調査」に回答し、かつインタビュー調査に協力意向を示した、就職先企業等の人事担当者

調査時期：2022年9月

卒業生インタビュー調査の結果概要

■ 現在の仕事で役割貢献・能力発揮するために必要な要素

- ・ 「コミュニケーション能力」「他者を理解する力」「調整力」といった対人関係を良好に築くためのスキルが挙げられました。
- ・ 交渉の場において必要とされる「論理的思考力」「調整力」といった要素も挙げられました。
- ・ 業務に関する「基礎知識の習得」「情報収集力」「分析力」などのビジネススキル・知識の重要性と、それらを積極的に習得しようとする「積極性」や「探求心」が求められることが示されました。

■ 仕事で役割貢献・能力発揮するために必要な要素に紐づく在学中の学びと、それが仕事に役立った場面

- ・ 基礎知識の定着には授業やゼミが役に立っているという意見が挙げられました。

- ・ゼミを通して思考の仕方、プレゼンテーションやレポート作成のスキルが身についたという意見がありました。

■ DP 項目*の内容は身についたと思うか、また、現在や今後の仕事で活かせると思うか

*DP 項目とは、[立教大学の学士課程教育の目的（ディプロマ・ポリシー；DP）](#)が身につけている程度を測定するために具体的な言葉にして質問項目化したものです。項目の一覧は本資料の4ページをご覧ください。

- ・ほぼ全員から、DP 項目の大体が身についたとの回答が得られました。

■ 卒業時に身につけておく要素は現在の DP 項目の内容で十分か

- ・現 DP 項目の内容以外にも、「計画的に物事を進める力」「忍耐力や理不尽なことに抗う力」「周りへ発信できる人になれる人を目指す項目」「メンタルや自己肯定感につながる学び」「デザイン思考やワークショップのやり方」が必要とする意見がありました。

■ 立教大学生の特徴

- ・真面目で人柄がよく、温厚な印象という意見が挙がりました。
- ・堅実でバランス感覚に優れた考え方ができる学生が多いという意見がありました。
- ・一方で、無難で特徴がなく、闘争心や競争心が低い控えめな印象や、ベンチャー志向の尖った人材が少ないという指摘もありました。

■ 学修（勉強）以外の在学中の経験で、現在の仕事に役立っていること

- ・インターンシップでの経験は、社会を広く知る機会になるとともに、自分自身のスキル向上や今後のキャリアを考えるきっかけにもなっているとの意見がありました。
- ・サークル・部活動などでの経験は、協調性、コミュニケーション能力、マネジメント力など、対人関係を円滑に進めるためのスキル習得の一助となっており、就職先の職種を問わず、汎用的なスキルとして役に立っているとの意見がありました。

就職先企業等インタビュー調査の結果概要

■ 立教大学出身者が DP 項目の内容を身につけている程度

- ・大体の項目は身につけているという意見があり、立教大学出身者は、全体的にバランスが取れているという意見がありました。
- ・英語力に関しては、「十分な能力を習得している印象」という意見がありましたが、従業員が英語をそれほど使わない企業にとっては評価項目には含まれないとする意見もありました。

■ 大学卒業時に身につけておくべき要素は現在の DP 項目の内容で十分か

- ・現 DP 項目以外に卒業時に身につけておくべき要素としては、「先を見る力」「自律性に関する項目」「実践的な英語力」「主体性」「当事者意識」「論理的思考力」が必要との意見がありました。
- ・それらを育むために、「1年次からのキャリア教育」が必要であるという指摘もありました。

■ 立教大学出身者の特徴

- ・バランスが取れた優秀な人物が多く、一般教養、主体性、安定感、コミュニケーション能力の高さ

などが特徴として挙がりました。

- ・ 一方で組織を大胆に変革させるような尖った個性を持った人材は少ない印象があるとの意見もありました。

■ 学修（勉強）以外の大学の経験で、仕事に役立ちそうなこと

- ・ 学生時代に経験した事柄そのものよりも、どのような目的意識を持ち、その経験から何を得たのか、といった向き合い方や没頭具合を重視する意見が挙がりました。
- ・ サークル・部活動での経験のほか、コミュニケーション能力の向上と企業・業界を理解するきっかけとして、アルバイトやインターンシップを通して、学生時代から社会人と接点を持つ機会を増やすことを推奨する意見が挙がりました。

卒業生と就職先企業等のインタビュー調査の結果比較

■ 仕事上のキャリアを積み重ねていくキャリア展望につながる要素や大学での学び

- ・ 卒業生、就職先企業等ともに、「マネジメント力」と「プレゼンテーション力」を挙げていました。
- ・ 卒業生側は業務に役立つ具体的な知的能力に関する要素を重視する傾向がありましたが、就職先企業等の側は「継続力」「忍耐力」「経験の質」「視点」といった、人間力を高めるうえで基盤となる要素を挙げていました。
- ・ 卒業生は仕事の遂行に直接的に役に立つスキルを重視し、就職先企業等は組織の一員として立ち振る舞い、影響力や成長ポテンシャルを重視するという違いも見られました。

■ DP 項目の内容について

- ・ 卒業生、就職先企業等ともに、Web 調査における DP 項目の集計結果に違和感はないと回答していました。
- ・ DP 項目の「知識」「技能」に関する項目では、卒業生からは、繰り返し受けてきた専門領域の学びが今の職業人としてのベースとして活かしているとしているが、就職先企業等からは、さほど専門領域に固執する必要はないとの意見があり、認識にずれがありました。
- ・ 「態度」に関する項目は、卒業生、就職先企業等ともに仕事を遂行する上で必要な要素であり、立教大学だからこそ身についた（ついている）とする肯定的な意見が見られました。

■ 立教大学出身者の特徴について

- ・ 卒業生、就職先企業等ともに、特定の分野で際立った特徴をもつ人物が少ないとの意見もありましたが、人柄の良さやバランスの取れた能力を有していること、教養の高さなどが立教大学出身者の特徴として挙げられました。

2023 年 1 月

立教大学 大学教育開発・支援センター 教学 IR 部会

付表 「卒業生調査」で用いた DP 項目一覧

	質問項目	分類
1)	幅広い教養	【知識】
2)	専門領域のことがらについて、他者と議論できる	【技能】
3)	自分の専門領域に関するレポート、論文を書くことができる	【技能】
4)	自分の専門領域の体系に基づいた知識*	【知識】
5)	英語で状況に応じた適切なコミュニケーションができる	【技能】
6)	PC やソフトウェアを使って、文書や資料を作成できる	【技能】
7)	インターネットやデータベースを使って、自分の課題に必要な情報を収集できる	【技能】
8)	自分の伝えたいことを人にわかりやすく説明できる	【技能】
9)	周囲の人間関係にはたらきかけ、良好な状態にできる	【態度】
10)	相手を尊重して、相手の意見や立場を理解できる	【態度】
11)	異なる価値観を持った人たちと共に活動できる	【態度】
12)	社会を構成する一員としての倫理観	【態度】
13)	自分の専門分野とは異なる視点から、物事を見ることができる	【知識】

「身についた」、「ある程度身についた」、「あまり身につけていない」、「全く身につけていない」の4件法
 *インタビューにおいて、就職先企業等には「4) 自分の専門領域の体系に基づいた知識」の結果は提示していない。